

MD330

ACTIVITIES REPORT





330-A

TOKYO



ACTIVITES REPORT



330-A TOKYO

Environment Symposium Oct.07.2017 (Audience about 500)





330-A TOKYO

Fund raising for the little girl "Ayame-Chan" who needs Heart transplant





330-A TOKYO

Support for Blood donation





330-A Clean-up activities with Boy Scouts

TOKYO





330-A TOKYO

Clean-up activities at tourist spot





330-A Tree climbing experience

TOKYO





330-A TOKYO

Universal Ekiden (marathon relay race)





330-A TOKYO

Activities for Child care facility





330-A TOKYO

Drug abuse resistance education



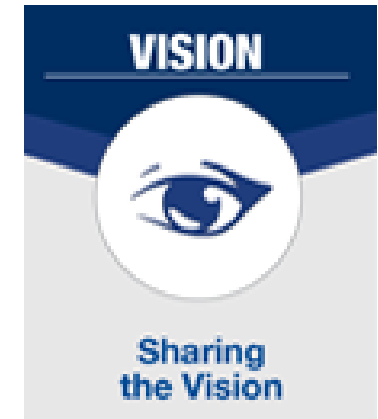
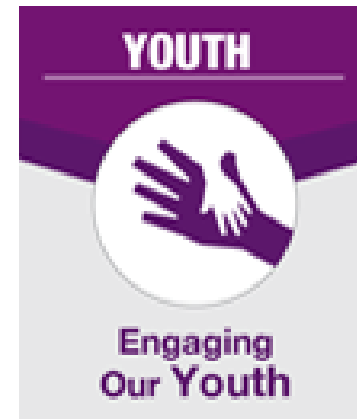


330-A Youth exchange camp TOKYO



330-C地区 アクティビティ報告

District 330-C Activity report





- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Ina LC; We have tended to the moss pink along the river for 40 years, and continue to maintain the surrounding area.

芝桜の植え込みから手入れまで行い、地域住民に喜んでもらっている。



- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Hanno LC; We have tended to the cherry blossom trees along the river for 40 years, and continue to maintain the surrounding area.

40年に渡り河川敷の桜の手入れをするなど、地域の環境整備を行なっている。



- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Kawagoe Hatsukari LC; By providing food aid, we support people to start anew and hope to see their children smile again.
生活を立て直す為の支えとなり、子供達が笑顔になれるよう食糧支援を行なっている。



- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Siraoka LC; We organize potato-picking activities for nursery school children.

保育園児の芋掘り体験

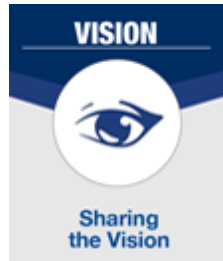


- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Ranzan Tokigawa LC; We established an elementary school in Cambodia, sent writing supplies, and are following up with them.

カンボジアに小学校を建設し、文具用品を贈ったりと後のフォローもしている。



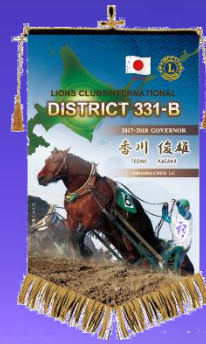
- 330-C地区 アクティビティ報告
- District 330-C Activity report



Toda LC; We hold educational activities about eyes by offering free eye exams and holding poster exhibitions on eye protection.

目の無料検診および目の愛護ポスター展を開催し、目に対する啓蒙活動を行なっている。

MD 331





2017~2018

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

★ライオンズ創立100周年記念奉仕事業★

道民の集い

“奉仕の道は世界に通じる”

日時

2017年

11月4日(土)

13:30~17:40

会場

札幌市教育文化会館
(大ホール 1F)

札幌市中央区北1条西13丁目
TEL:011-271-5821

入場無料

※お車での来場はご遠慮下さい。

主催：ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

(キャビネット事務局) 〒060-0809 札幌市北区北9条西3丁目 小田ビル5F
TEL(011)758-8881 FAX(011)758-8882
E-mail : info@lc331-a.jp (ホームページ) <http://2017-2018.lc331-a.jp/>



プログラム

- 式典
- 創立100周年記念講演
大阪総合研究所所長
辛坊 治郎氏
- ミュージックフェスティバル
北海道大学交響楽団 演奏会



"Domin no Tsudoi"
held for the commemoration
of centennial of LCI



331-A



Ceremony



331-A



Lottery



Lecture by Jiro Shinbo(News Caster)



331-A



Guide dog



Booth selling wine for charity



Hokkaido University
Symphony Orchestra



331-A



Panel display of the history of 100years



Blood mobile



Party



Party



331-A



Children's baseball tournament



Park beautification



Maintenance of flower bed



Road safety enlightenment



331-B



Fund-raising activity for 24hours TV
"Love saves the earth"



Children's basketball commendation ceremony



Chair curling commendation's ceremony



PR of Sight First in the Ice festival



331-B



Diabetes seminar for citizens in Hakodate

第30回 函館市民糖尿病教室

今年も恒例となりました函館市民糖尿病教室を開催いたします。ご覧のようなプログラムで、皆さんをお待ちしておりますので、是非ご参加下さい。



■日時 平成29年11月11日 (土)

午後0時30分 開場
午後1時30分 開演
午後4時00分 終了予定

■場所 ホテル函館ロイヤル 函館市大森町16-6
TEL 0138-26-8181

ご注意①：昨年までは函館国際ホテルでした、お間違えないようお願いいたします。
ご注意②：駐車場スペースが極めてせまいので自家用車での御来場は御遠慮ください。

《プログラム》

- 【1】栄養士会より 昨年のアンケート結果『お口の中の健康について』
函館市医師会病院 管理栄養士 佐々木 はるみ 先生
- 【2】講演『糖尿病から腎臓を守るには』
医療法人あそべの森 あんざいクリニック院長 安斎 治一 先生
- 【3】楽しく体操『いか踊り体操で、身も心もリフレッシュ!』
函館市保健福祉部健康増進課
- 【4】特別講演『糖尿病から眼を守るには』
東京大学眼科学教室 准教授 加藤 聡 先生

尚、当日は ☆医師、栄養士、薬剤師による医療相談、栄養指導
☆糖尿病に関係する製品やパネルの展示
☆血圧、血糖の測定サービス（体験コーナー）
（また、景品の当たる抽選会もございます。）

主催：函館市医師会・函館糖尿病懇談会
後援：函館市・公益社団法人日本糖尿病協会北海道支部・函館眼科医会
函館薬剤師会・NHK函館放送局・北海道新聞函館支社・函館新聞社
協賛：ライオンズクラブ国際協会331-C地区



331-C

MD332

ACTIVITIES REPORT



332複合地区FWTの更なる発展のために

332 Multiple District For Further Development of Family Women Team

ライオンズクラブ国際協会332複合地区ガバナー協議会幹事

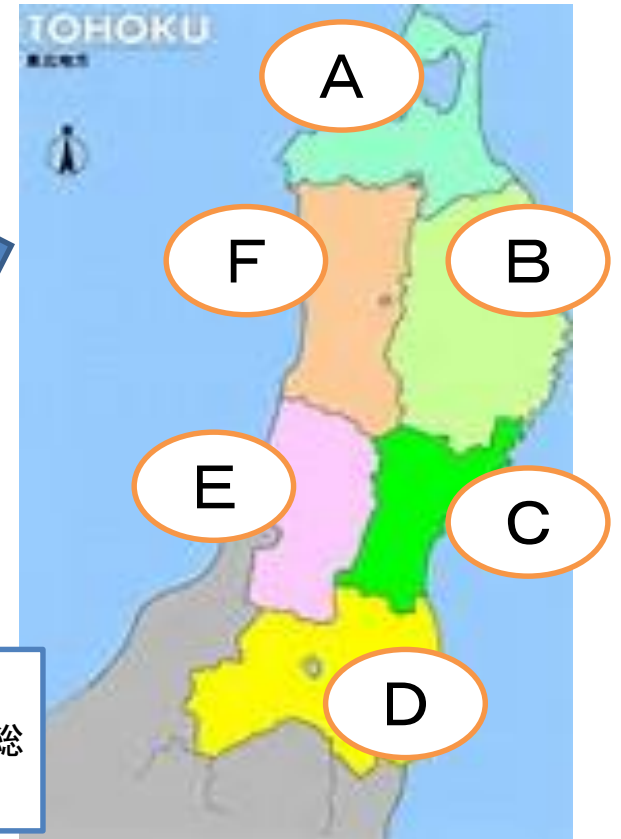
332-E地区ガバナー

L.伴 和香子

Secretary of Lions Club International 332 MD Council

332-E District Governor

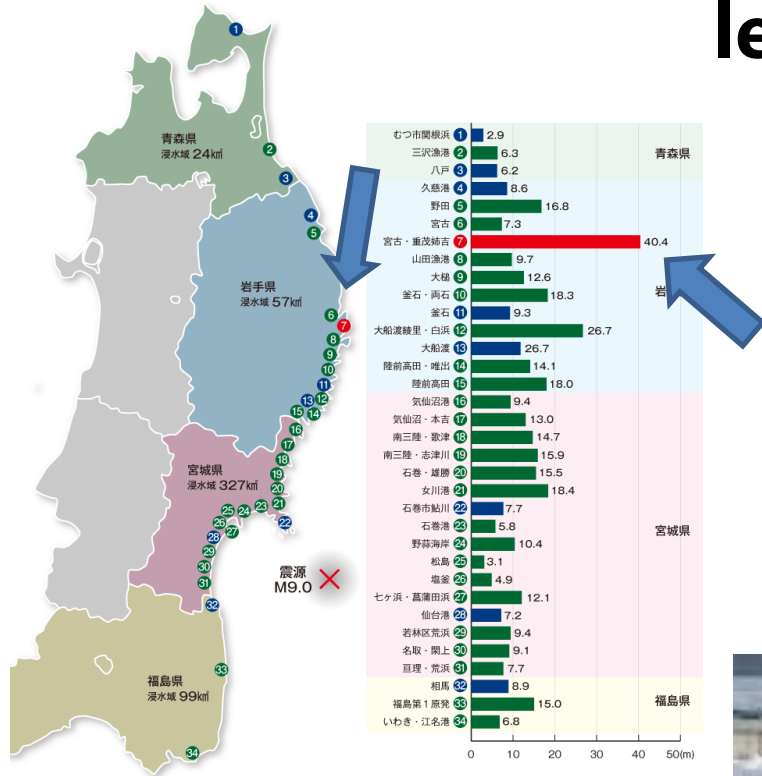
L. Wakako Ban



東日本大震災で被災した東北4県を含む332複合地区
会員 男性 9,006名/女性 3,293名(女性の割合26.8%)総
計12,299名

4 Districts of 332MD were devastated by the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami.
The 332 MD has
Male members 9,006 / Female members 3,293 (26.8% of the total).
Total: 12,299 members.

東日本大震災の支援とLCIFの活動について学ぶために岩手県宮古市に行こう Let's Go To Miyako to support the area hit by the Tsunami and learn about LCIF activities.



東日本復興支援332複合地区FWTフェスタin宮古 開催

Support for the Recovery in East Japan 332 MD FWT Festa in Miyako

○2016年9月からイベント開催のための話し合いに着手

○2017年、10月12日、13日の一泊とする。

場所 甚大な被害を受けた岩手県宮古市とする。

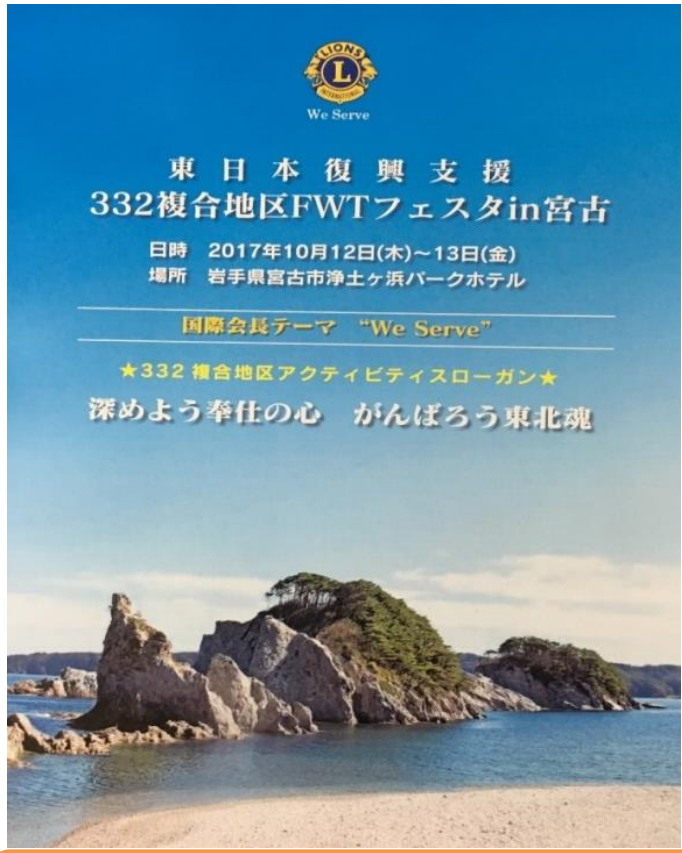
Had been prepared since September in 2016.

Date: October 12 and 13, 2017

Place: Miyako-city in Miyagi Prefecture where severely damaged by the Tsunami.



経費削減のため手作りチラシ
Handmade flyers to reduce the cost.



活動をまとめたしおり
Booklets to report the activities.

東日本復興支援332複合地区FWTフェスタin宮古 開催

Support for the Recovery in East Japan 332 MD FWT Festa in Miyako

目 的

1. 東日本大震災の復興支援とする。
2. LCIFからの支援の目的と理念を学ぶ。
3. 津波襲来時の様子と災害時の
ころ構えについて学ぶ。
4. 各FWT活動の報告の機会とする。
5. 今後の活動についてワークショップを行う。
6. ノンライオンをツアーに誘う。

Goals of the Event

1. To support the recovery from the Great East Japan Earthquake.
2. To learn the philosophy and aims of the support from LCIF.
3. To learn about the tragic events on the day of tsunami and prepare our minds for incidents in the future.
4. To have an opportunity to report the activities of each FWT Committee.
5. To have a workshop for the further activities.
6. To invite non-Lions members to the tour.

研修1. 手創工房 輝きの和 見学～LCIFからの支援で建設のショールーム Seminar 1 : Visiting “Kagayaki no Wa” Craft Center.～The Showroom built by LCIF

10月12日(木)13:30～ Thursday, October 12th. 13:30～



被災者への仮設住宅等の支援が終了した事により、公営住宅や住宅再建の家賃やローンが、その後の被災者に重く申し掛かっている。工房での作品の売り上げの6割は、被災者に支払われる。ライオンの販売支援に大きな感謝が寄せられている。
The housing support for the disaster victims has been ended. The apartment rents or the mortgage for the reconstructed houses are big burdens for the victims. The 60 % of the amount sold at the Craft Center is paid to the victims. The sales support by the Lions Club is greatly appreciated.

研修2. 第16陸中丸船長 坂本繁行氏 講演

Seminar 2: Lecture by Mr. Shigeyuki Sakamoto, the captain of the 16th Rikuchu-maru

10月12日 16:40~ October 12th 16:40~



船長の坂本さんです。
Captain Sakamoto



乗船記念写真です。
Commemorative photo on board

3月11日、船長の機転でせまり来る津波を越えて沖へ避難。遊覧船の中で船長から当時のお話を伺いました。
On March 11th, the captain decided to sail over the tsunami to escape in the offing. We listened to his story on board.

「一瞬の判断が命を救った。地震が起きたときは、すぐに船を沖に向けた。津波は大きかったが海の上は揺れを感じなかった。40時間も陸に戻れず、寒さと不安と戦った。」

“A split-second decision saved our lives. When the tsunami occurred, I decided to sail into the offing. The tsunami was huge but we didn’t feel the waves. We couldn’t go back ashore for 40 hours. We had to fight against coldness and fears.”

研修3. 基調講演 L.須賀原チエ子

Seminar 3: Keynote Lecture by L.Chieko Sugawara

332-B地区FWT地区コーディネーター

宮古市議会議員

陸中宮古LC・宮古陽だまり支部設立世話人

L.須賀原 チエ子

FWT Coordinator of District 332-B, Miyako-City

Council Member,

Facilitator for establishment of Miyako Hidamari

Branch Club of Rikuchu Miyako Lions Club.

L.Chieko Sugawara



まず、世界中のライオンズクラブからのたくさんの支援に皆が心より感謝している。男性及び女性より寄贈されたネクタイ・着物・帯を材料にしての手作り商品の開発と販売。しかし拠点となる工房の設置に悩んでいたところ、LCIFの支援と出会った。LCIFの支援が無ければ、被災女性達の手仕事工房の経済活動や支部設立は有り得なかった。災害は今後もどこかで起きるだろう。その時、自分達の行動や活動の経験を活かし、支援を行いたいと強く思っている。

“First of all, I’d like to give thanks to so many supports coming from the Lions Clubs around the world. We developed new products using ties donated by male members and kimono or obi (Japanese sashes for kimono) donated by female members. However we didn’t have a place to make products. Luckily LCIF supported our need to build a craft center so that the disaster victims, especially women, can earn money for their lives. Also we could establish a brunch club. When natural disasters occur somewhere in the world, we’d like to help people in return based on our experience.”

ライオンズクラブ国際協会LCIF支援により設置できた工房 ①

The Craft Center was built by support from LCIF.

被災者や女性達の仕事場として着物地裂き織りや各種手作り商品の製作しています。
A lot of women who are victims of the earthquake work here and produce handmade products recycling kimonos and ties.

工房も設置、被災者交流の場 吉古に「体験広場」開所

富山日報 2015年1月17日(土) 14:14



写真提供

富山市の障中富山ライオンズクラブ(須賀原ケエ平会長)が整備した「みやこ体験広場」は17日、同市吉古1丁目の民有地に開所する。着物を織るウニ織の工房や縫製工房、無料の交流スペースを設置。長寿住宅から移り来った被災者住宅への初音を見学し、被災者の交流や自立の場として活用を目指す。

広場の整備は、ライオンズクラブ国際協会や富山県山ライオンズクラブ(池田康夫会長)の支援金計1000万円を活用、ユニクロの店舗を譲り、広場を運営する一般社団法人NVA(野間和子代表理事)が立ち上げた。

被災者が和装品のメーカーや製作者を利用した着物を織り出している「着物の和」の工房に加え、ウニ織から織出した着物を再び着るに役立てる富山ライオンズ(17日)＝同市吉古一の工房も設置。スクールルームで焼屋を見て、実際に焼くことも出来る。

着物のメーカーや和装品のメーカーも積極的に参加する。和傘、口籠、祝口籠、営業は午前10時～午後4時。問い合わせは同広場(0192-77-2987)へ。【富山＝被災者の交流の場として多くの市民を招待する「みやこ体験広場」の運営スタッフら】



ライオンズクラブ国際協会LCIF支援により設置できた工房 ②

The Craft Center was built by support from LCIF.



宮古市NPO「手前」

宮古市NPO「手前」

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

2014年1月18日(土曜日) 宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。



2014年1月18日(土曜日) 宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。



宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。



宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。



宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」の活動の様子を取材しました。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

宮古市NPO「手前」は、被災者の着物や生地を再利用し、被災者にストラップやベストなどを提供し、自立支援の活動を行っています。

332-B地区 FWT活動報告

District 332-B FWT Activity Report



B地区コーディネーター
L.須賀原チエ子
FWT Coordinator
of District 332-B
L. Chieko Sugawara

332-B地区 FWT活動報告

北上LC ライオンレディが震災復興支援事業を反響
東日本大震災復興支援活動として、チャリティ・コンサートやバザー、お茶会などの各種イベントを実施。事業収益金を「いわての学び希望基金」にその趣意を届けています。
震災により、両親さんをお失った多くの子どもたちが、夢と希望を持って学び、日本の将来を担う社会人として立ち立ちますよう願っています。



チャリティ・コンサート



チャリティ・茶会

釜石LC 特別養老老人ホーム「あいげんの里」における奉仕活動を継続実施
主に女性会員・家族会員で35年継続(2017.8月で434回)入居者のお話相手・お茶タイム等の趣向・編み物の体験などを長年に行っています。



鹿中宮古LC 被災者支援から商店街の活性化へ
10月15日 宮古駅前 未だ商店街の活性化のために手仕事フリーマーケットを開催。手作り商品は元より生菓やなど販売。各種ワークショップ開催。美味しいコーヒーとタフィーが好評でした。



花巻東LC

家族会員の活動報告



毎年、秋葉祭会・恒例 活動・献金活動への参加協力をしておりすが、青年会、今後は「若狭工の小物 多数量産型で製作販売し、基金を青少年を対象とした施設に送りまし。また、女性会員・家族会員が製作した手まり屋を販売し、児童養護施設、児童学障の子供たちを温泉に招待しています。

盛岡親武LC

今年7月に開催された「西吉山祭り」に参加しブルーベリージュース、クレープ、弁当などを販売しました。今月の活動としては「フリーマーケット」を企画しその売上金を「子ども食堂」の資金とし、皆さんで力を合わせて楽しくアクティビティ活動が出来ると楽しみにしています。



5LCの様々な活動を報告。家族会員の活動報告として、手作り品を販売し、青少年の施設への寄付。児童養護施設の子供の温泉への招待。ライオン誌へ大きく取り上げられた「子ども食堂」の開設と成果などが報告された。
“Various activities of 5 Lions Clubs are reported. Family members sold their handmade products and donated money they earned to the Juvenile Facility. We invited children of foster home to a hot spring. We could open a ‘Restaurant for Children’, whose article was introduced in the Japan Lions Club Magazine, and support many children in need.”

332-D地区 FWT活動報告

District 332-D FWT Activity Report



D地区コーディネーター
L. 齋藤美津子
FWT Coordinator
of District 332-D L.
Mitsuko Saito

332-D地区 FWT 活動報告

1. 女性会員懇談会

日時：2016年3月1日(火)
会場：加賀区民会館(加賀市)
内容：懇談会、集約出し集約やり、目的別懇談会
第1段階1名では、互いを中心に「女性懇談会」が積極的に行われている。目的は、女性会員の増強とライオンズクラブの活動理解を深めてもらうこと、女性同士の連絡を図ること。
FWTとして初めての活動をこの地区で参加させていた「女性会員の集約」の場でFWTの広報と理解を深めた。
また同時に女性会員がどんな非社活動に関心があるのか、今後どんな活動をしたいのかなどの意見を伺った。



2. FWTフォーラムの開催

日時：2016年9月16日(金)
会場：郡山ビューホテルデラックス
内容：第1部 講演会 (FET東日本エリアリーダー 小田麻子)
第2部 ワークショップ
参加者：70人

講演では、家族と女性が深い関心を持つ非社活動として、自らの言葉を使った奉仕、地域コミュニティの発展に資する奉仕が大事と語られた。ワークショップでは、各グループに分かれ「女性会員を伸ばす」をテーマに6項目の行動計画に沿って具体案を出し合い、結果的や中心にも効果的な意見が飛び交い会場は熱気に包まれた。
このフォーラムで感じたのは、普段は男性会員が多い中、どうしても発言機会などが少ない女性会員が、このワークショップでは、活発な意見が飛び交い、ユーモアあふれる提案などもあり女性でないと想像できないような意見も多く出たこと。改めて女性の素晴らしさを感じ、今後の生業に期待をもたらしたフォーラムだった。



3. 第1回のFWT会議

日時：2016年11月30日(木)
会場：ザ・セレクトフクシマ(福島市)
内容：女性会員による今後の活動の進め方及び非社活動について
第2段階1名におけるZC、FWTクラブ委員長、または会長と懇談会を行った。
参加者11名

食事をしながらの会議で、船越中か女中で進められた。FWTとして今後どのような活動をやっていくことが、ライオンズクラブに女性会員を引き付けることができるか、また女性会員同士の連絡を図るためにどんなイベント等を展開することができるか等について話し合った。

4. 2R1ZのFWT本部村視察研修

日時：2017年3月15日(水)
場所：飯館村飯館
内容：ライオンズクラブの総会332F 4R 2Z10クラブ合同
東日本大震災被災地支援チャリティ募金の贈呈
及び研修 (菅野町飯館村長の講演)

参加者：332F 7名、332D 8名
2017年1月14日開催の332名地区FWTコーディネーター会議が機軸で、実施に至った視察研修である。332F 4R 2Zでは東日本大震災被災地支援チャリティ募金の贈呈を行っていたが、今回は先着順飯館村に言うことで飯館村への贈呈となった。

飯館村の大半で飯館村の被災状況は一面真っ白な雪に覆われてしまったが、村長で村長から「復興への道のり」と題し、今までの取り組みと復興に向けた課題を語り、その後「飯館村交流センター」で懇談会を行い、その後「飯館村交流センター」へ参加していただき飯館村と飯館の町中か交流会が行われた。



5. 第1回ガバナーチーム並びにGMT・GLT・FWT正副合同勉強会の開催

日時：2017年8月2日(水)
会場：一葉一会(川原町)

内容：それぞれ今後の目標・計画・進捗
し、菅野ガバナーチーム12名の参加で、それぞれの活動において、具体的にどのような進め方、取組み方をするのかについて議論を交わした。
正副合同会議と言うことで、お互いに目ご感じていること、またこうしたいというようなことをし、菅野ガバナーチームとごっくばらに話し合えたことには大変満足であった。



6. 今後の予定

2017年10月18日(木)
GMT・GLT・FWT合同セミナー開催
講演と意見交換を中心とした勉強会の開催による基本
青年までは、FWTとして女性会員の必要性を訴えてきたが、今回は合同セミナーを通して女性会員の増強や維持へ一歩踏み出した活動を目指す。

女性会員の増強とライオンズクラブの活動理解のためにFWTフォーラムや昼食懇談会を開催している。そこで、女性会員の関心ある活動について意見を伺っている。また、飯館村を視察し、東日本大震災被災地チャリティ募金の贈呈を行った。GMT、GLT、FWT正副合同勉強会も開催し菅野ガバナーチームを盛り上げている。

“We hold a FWT Forum and lunch meeting to recruit new female members and introduce Lions Club activities. We collect the opinions from the participants to know what kind of activities they are interested in. We also went to Iitate Town, where affected by radiation from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, to donate the East Japan Earthquake Charity Fund. We have a study group among GMT, GLT, FWT coordinators and vice coordinators to support Governor Kannno.”

332-E地区 FWT活動報告

District 332-E FWT Activity Report



E地区コーディネーター
L. 渋谷敬子
FWT Coordinator
of District 332-E
L. Keiko Shibuya

332-E 地区 FWT 活動報告

1. 「第1回リーダーシップ実践セミナー」(GW・FWT・次世代リーダーシップ研究会合同開催)
 日 期: 2017年8月25日(金) 13:00~16:00
 場 所: 東船場くらんぼサントラルホール
 参加人数: 105名 第1部セミナー 第2部ワークショップ

講 義 『非営利への挑戦〜「楽しい」は新しい未来の始まり〜』
 332-E地区年次大会実行委員会 藤原 浩二 (川崎つばさLC)
 (保険やこれまで築き上げた歴史を振り返りながら、新しい非営利の発展も取り入れ、挑戦することによって新しい未来、又、会員の発展も促されていく。ワークショップでは、色々な疑問が解消し、有意義な時間を過ごす事ができました。)

講 義 『子ども・大人も地域社会の一員として』
 332委員会 FWT コーディネーター L. 矢野夕起子 (徳島県民LC)
 日本の子どもの世帯についても早く取り組み、子ども食堂をオープン、誰もが笑顔に笑顔と大人も一緒になって「楽しく過ごす」として、又、学習支援も実施されていることに大変興味を持ってもらいました。

2. 「中古ネクタイの回収と作品の展示」
 対象: FWTクラブリーダー数名 年316の誕生日を記念、クラブ毎に本数で競賞

ライオンクラブ国際協会100周年記念(恵世の100年を祝おう)【特別企画】
山形県 第3回「生きる」小児がん征圧「天使の泉」
Dr. 細谷亮太氏の講話 & チャリティーコンサート
 2017.9月23日(金) 河北町【vol.81】-9月24日(土) 鶴岡【vol.82】

★日本のシャンソン歌姫 第一人 高美芳さん生誕100年に寄せて★

「私たちが「生きる」小児がん征圧「天使の泉」を応援しています」

河津町 9月23日(金) 19:30 会場: サルベール 入場料: ¥2,000
 鶴岡市 9月24日(土) 14:00 会場: グランドエール・サン 入場料: ¥1,000

リーダーセミナーを初め様々な活動を行っている。特に小児がん征圧のためのチャリティーコンサートを開催した。シャンソンの演奏は元よりDr.細谷亮太氏の『小児がんと子どもたちの「いのち」と向き合い続けた40年』の講話を聞き、小児がんへの理解を深め支援の必要性を痛感した。地区全体で取り組み、収益金は、「がんの子どもを守る会」と地元医療機関へ寄付し、マスコミにも大きく取り上げられた。また、ネクタイ、着物、帯など段ボール25箱を、子ども食堂へ米・パスタ・マヨネーズ等を寄贈した。

“We have a leadership seminar and other various activities. Our main activity was a charity concert for conquering childhood cancer. Dr. Ryota Hosoya gave a lecture titled 'Treating Childhood Cancer and Watching Lives of Children over 40 years' in the concert. The lecture made us know the importance of understanding and support for the childhood cancer. This concert was held in two cities and helped by all members in the district. We also donated charity fund to the 'Support Group for Children with Cancer' and local medical institute.” This charity concert was published in media around the district. We donated 25 boxes of ties, kimono, and obi (sashes for kimono), and also rice, pasta, and mayonnaise to the Restaurant for Children.

332-F地区 FWT活動報告

District 332-F FWT Activity Report



F地区コーディネーター
L.吉方裕子
FWT Coordinator
of district 332-F
L. Yuko Yoshikata

332-F 地区 FWT 活動報告

～ FWT 会議 ～

(概要)

FWT発足の流れを受け、332-F地区でも組織表にのっとりFWTメンバーと呼ばれる各地区の代表を選出した。メンバーは今期になってようやく出そろい、2年かかってしまった。部分的に役割が重複する会もあるが、ゾーンからの代表をチームリーダー、クラブからの代表をクラブリーダーと呼び、情報を共有するための定期的に会議を開いている。その他にFWTの活動に協力的な会員を募り、賛同してくれた方にはサポートメンバーという名前で会議に参加して頂いている。

これらのメンバーの方々は、各地区のFWTの窓口であり、今後一層の連携強化が必要になってくると考えている。

(会議の様子)

2017年度は、これまでに7月27日(木)、8月30日(水)に会議を行った。以後も継続して、定期的に続けていく予定である。昨年度は全4回開催した。

参加した会員から、それぞれの地域で取り組んでいる活動を紹介して頂き、協力しあえる体制を作っている。

初めは右の写真のように、女性会員だけの集まりだった。

この会議によって、地域は違っても、似たような課題を抱えていることがあり、分かり合えたことは大きな意味があると思う。

一番の収穫は、話し合い相談できる仲間ができたことである。

ゾーンを超えた会合は、あまり多くはないので、そういう意味でも有益な時間を過ごしている。



(今後の展望)

各地区のリーダーは決まったが、まだ代表としての自覚が弱い方もいるので、共に勉強していきたい。リクエストがあれば、規模は小さくとも勉強会を開くことも考えている。また、参加人数が少ないので、もっと周知していきたい。

332-F地区は交通の便が悪く、一斉に集まるのが難しい部分もあるが、直線距離を合わせる事が大切だと思う。それを踏まえ、より多くのクラブに参加を依頼すると共に、相互理解を深めていきたい。

～ 女性フォーラム ～

(概要)

332-F地区では毎年、キャビネット主催の「女性フォーラム」を開催しており、2017年度で10回目を迎える。地区ごとの抱える課題を確認し合い、意見交換をする場として機能し、年々交流が盛んになっている。女性会員増強へ向けた地域交流の場として発展させていきたい。

これまではキャビネットの「女性及び家族会委員副副時・増強委員会」が中心となり企画していたが、2017年度はガバナーの意向もあり、FWTとより強く連携を図ることになった。FWTコーディネーターの任期も3年目という節目を迎え、力を入れて取り組んでいる。

昨年度は外部から講師として、東日本大震災の支援活動に携わった納棺師の方を招き、講演会を実施した。今年度は、先だって遺体処理施設見学のされた飯館村の村長に講師を依頼している。東北人として、様々な現状を「知る」ことは大切だと実感させられることが多い。これが次のボランティア活動に繋がっていくことを期待している。

(2017年度 最新の予定内容)

- ・開催日：2017年12月10日(日)午後
 - ・場 所：秋田県民会館「ジョイナス」
 - ・講 演：『人生は片道切符』
 - ・講 師：菅野典雄氏(飯館村 村長)
- 上記の通り、開催を予定している。
今年度の講演会には一般の方々も参加できるようにする予定である。



(今後の展望)

10年を渡って、回数を積み重ねてきたことによって、ようやく一定の認知をされるようになった。

今年度は、新たな試みとして一般の方々も参加するような機会を設けるが、フィオンスクラブの活動を多くの人に知ってもらうことで、クラブが活性化し、会員の裾野が広がることを願う。特にFWTの女性会員が企画することで、女性に関心を持ってもらい、ボランティアの意識が高まれば良いと思う。

少しずつ仲間が増えて、点から面になるように活動の輪が広がってきたように思う。継続は力なりという言葉の通り、単発的な企画では実現できない活動もあるかと思うので、今後も丁寧に回を重ねたい。

全ての地区の代表を選出し、情報交換のために定期的に会議を開催している。また、女性フォーラムを毎年開催し、今年10回になる。昨年は東日本大震災の支援を行った納棺師の講演聞いた。12月10日(日)開催では飯館村の菅野典雄氏から『人生は片道切符』と題し、講演をいただく予定である。

“We have a regular meeting to exchange information with representatives from each area. We also have been holding an annual Women Forum for 10 years. Last year, we listened to a lecture by a mortician who supported after the Great East Japan Earthquake. On December 10th, we are going to have a lecture by Mr. Kanno Norio from Iitate Town titled ‘Life is a one-way ticket’.

10月13日 朝食&ワークショップを開催
October 13th Breakfast Meeting & Workshop



A地区 ワークショップ 報告

District A Workshop Report



地区FWT副コーディネーター

L.工藤 美智子

332-A District FWT Vice Coordinator

L. Michiko Kudo

3つの目標を話し合った。

1. 今後もネクタイなどの支援をおこなう。
2. 子ども食堂を地域を巻き込んで始める
3. 女性向けマナー講習を継続して行く。

We talked about 3 goals.

1. We'll continue to donate ties.
2. We'll start a "Restaurant for Children" with support from the area.
3. We'll continue a seminar for women to learn manners.

B地区 ワークショップ 報告

District B Workshop Report



地区FWTクラブリーダー・支部会長

L.宮城 貞子

332-B District FWT Club Leader・Brunch Club President

L. Sadako Miyagi

ネクタイ再生プロジェクトについて紹介した。
子ども食堂は食に始まり、遊ぶことやボランティアについて学ぶなど大きな成果を上げている。
今後、終活に向けて様々な物を再利用したい。
女性の持つ力を輝かせたい。

We introduced the Remaking Ties Project.

“Restaurant for Children” has a great accomplishment to learn about volunteer work starting from food.

We'd like to use various ideas and tools for preparation of death.

We'd like to make women shine.

C地区 ワークショップ 報告

District C Workshop Report

地区FWT委員会 委員長

L.佐藤真弓

332-C District Chairperson of FWT Committee

L. Mayumi Sato

「輝く素敵な女性」講座を三回開催する。
日程を早めに決める事が大切である。

We'll hold a Charming Women Seminar
three times.

Setting date of a seminar in advance is
important.



D地区 ワークショップ 報告

District D Workshop Report



332-D地区ガバナー

L.菅野 文吉

332-D District D Governor L. Bunkichi Kanno

FWTコーディネーターが帰ったので自分が報告するが、私もFWTである。
男女に関わらずライオンズクラブに誘って欲しい。
ライオンズクラブが多くなると地域も大きくなれる。
I will report on behalf of FWT coordinator who left earlier. Actually I myself am a member of FWT.
I hope you'll invite many people to become Lions Club members regardless of their gender.
The bigger Lions Club makes the district bigger.

F地区 ワークショップ 報告

District F Workshop Report



地区FWTコーディネーター

L.吉方裕子

332-F District FWT Coordinator L. Yuko Yoshikata

FWTの任期が3年から1年になると聞いたが、1年交代では仕事が出来ない。
せめてFWTは3年任期にして欲しい。
支援のネクタイを400本届けた。男性も応援してくれた。
女性は目的を持って具体的に動いて仲間を増やしていく。
I hear that a term of FWT will be shortened from three years to one year, but we can't accomplish an activity in one year. I think FWT should have a 3-year-term.
We could deliver 400 ties by support from many male members.
Women gather friends to act when they have a goal.

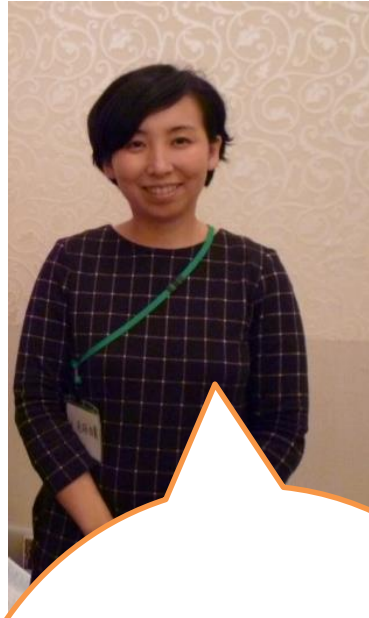
332複合地区FWTフェスタの成果と今後の展望 1

Accomplishments and Visions of 332 MD FWT Festa



E地区から参加の
ノンライオンの方々、
今後入会を約束し
てくださった。

Non Lion members
attending from
District E decided to
become members.



ネクタイ再生商品の販
売をお手伝いいた
だいたB地区

ノンライオンの方

Non Lion member
from District B helped
to sell products of the
Remaking Tie Project.



**332複合で取り組みネクタイ
再生プロジェクトの商品
Products of the Remaking Tie Project
supported by 332 MD**

332複合地区FWTフェスタの成果と今後の展望 2

Accomplishments and Visions of 332 MD FWT Festa

東日本大震災で被災した方々のご苦労を改めて肌で感じ、今後も支援を継続しようと心新たにしました。それぞれの地区で特徴有る支援を頑張っており大変に参考になった。支援にはネクタイ再生プロジェクトのような環境に配慮しながら、就労や購買など多様な支援が有る事を学んだ。また、今後は子ども食堂や小児がん征圧など女性の細やかさで、様々な支援を可能にするライオンズクラブの意義を改めて認識しながら頑張りたいと思う。

参加の皆様から女性らしい心遣いのフェスタだったと好評であった。女性は合って話して仲間を増やしていくので、今後もこのFWTフォーラムを継続して開催していきたい。

We could feel hardship of victims of Great East Japan Earthquake and made up our mind to support those who in need. Knowing activities of other districts was great help for planning new ones. We learned that the environment friendly activity such as the Remaking Tie Project can be a financial and employment support. We'd like to continue to help children with activities like "Restaurant for Children" or support for childhood cancer. The Lions Club can play a great role to support those activities.

The festa was successful to build relationship among female members by actually meeting face to face. We'd like to continue this FWT Forum in the future.

来年もFWTフェスタでこの笑顔に逢いたいです。
Hope to See You at FWT Festa Next Year!





MD333

Activity Report



Support Young Art Exhibitions

「ヤングアート長岡」開催を支援

Collaboration of Nagaoka Institute of Design and Nagaoka Shopping Districts

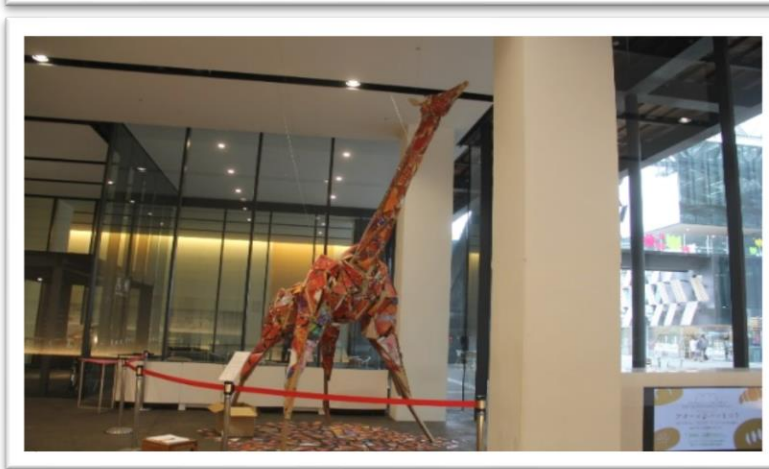
長岡造形大学と長岡商店街のコラボレーション

By Nagaoka Yukyu LC District 333-A

Opening ceremony



Art work exhibited in the shopping mall





Support "Bow-Wow Patrol" in Nagaoka City

長岡市の「わんわんパトロール」支援

By Nagaoka Yukyu LC District 333-A

Reel of reflector

わんわんパトロール

A certified owner and a dog take a walk for crime prevention by wearing accredited goods.





Support "Children's cafeteria" with Leo members

レオのメンバーと一緒に「子供食堂」をサポート
Niigata Central LC District 333-A

Leo club members of the University of Niigata Prefecture held the dinner party to celebrate the 1st anniversary of the "Sky Color Children's Cafeteria"

新潟県立大学のレオクラブ会員と、「そらいろ子ども食堂」1周年を祝う





Diabetes Prevention Lecture & LCIF Workshop

糖尿病予防講演会・LCIF講習会

by District 333-A





2017.08.09 YCE Poland

YCEポーランド



The National Anthem(国歌斉唱)



Host Family(ホストファミリー)



333B Governor(333-Cガバナー)



Welcome Party(ウェルカムパーティー)



2017.08.09

YCE India

YCEインド



Ashikaga Gakkou(足利学校)



Testing Sake(きき酒)



Tokyo Sky Tree(東京スカイツリー)



Welcome Party(ウェルカムパーティー)



2017.10.22 Drug Prevention Classes

薬物防止教育認定講師養成講座



Class(養成講座)



Governor Greeting(ガバナー挨拶)



Lecture(講義)



Poster(ポスター)



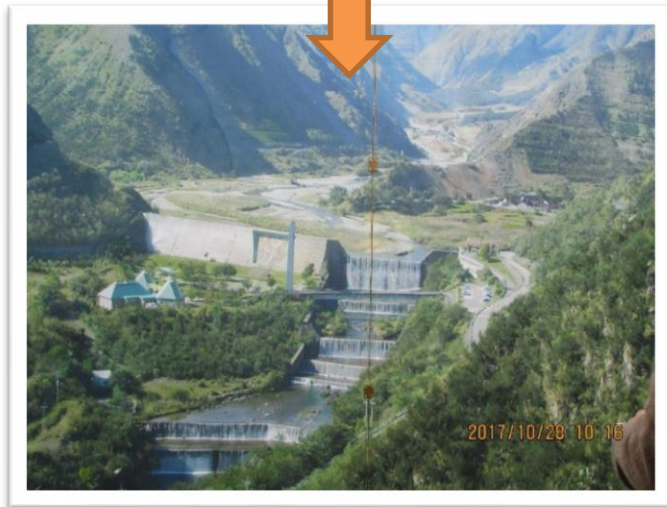
2017.10.28 Asio Planting (足尾の山に植樹)



Before (植樹前)



Planting Aogiri-Tree (アオギリの植樹)



After (植樹後)



Asio Planting (足尾の山に植樹)



Eye donation



We held a training seminar of eye donation.

献眼推進研修会・サポーター研修会開催



Light of love



Present for light



In future, we will do GST · LCIF seminar

今後、GST・LCIFセミナーを行います



I would like to conduct diabetes enlightenment activities

糖尿病啓発活動をおこないます



GAT Seminar · Legacy Project · Guide Dog Support Project

GATセミナー・レガシープロジェクト・盲導犬支援事業



Nakamura International Director Lecture GAT Seminar

中村国際理事講演 GATセミナー



Visit to Bangladesh

Bangladesh訪問



Bangladesh school construction

Bangladeshの学校建設



Bangladesh school construction site

Bangladesh学校建設予定地





◆ YOUTH / Engaging Our Youth

青少年健全育成活動

▪ Agriculture on-site training

農業体験学習



▪ Drug abuse prevention

薬物乱用防止



▪ Baseball tournament

少年野球大会





◆ ENVIRONMENT / Protecting Our Environment 環境奉仕活動

▪ Environment beautification

環境美化



▪ Coastal cleanup

海岸清掃



◆ VISION / Sharing the Vision 視力回復と失明予防

▪ Second-hand glasses collection

中古メガネ回収



▪ Dedicated eye registration

献眼登録活動



◆ HUNGER / Relieving the Hunger 飢餓対策

▪ **Food bank**
きずなBOX(フードバンク)



MD334

ACTIVITIES REPORT



Lions Clubs International MD334 Activity Report



Nagoya Castle

Yoshihiro NOMURA,
Council Chairperson MD334

Dist. 334-A Seminar for Diabetes Prevention



(attended by about 300 members from 121 clubs)

Dist. 334-B

Activity for Youth Sound Development (Lectures for Drug Abuse Prevention)



Dist. 334-C

Activity for Environmental Preservation



Dist. 334-D

YCE Seminar →

Meeting for reports from
Summer YCE students



FWT Forum
in Ishikawa



Dist. 334-E

Promotion for Bone Marrow Donor Registry



MD335

ACTIVITIES REPORT



Future Engineers Gather Primary Schoolchild Robot Seminar



Dist. 335-A SUMOTO Lions Club

Joint activity of the "777 project Ashiya"



In Ashiya city seidou elementary school is our hot air balloon got so many citizens. It was a day from children and adults enjoyed.

Dist. 335-A

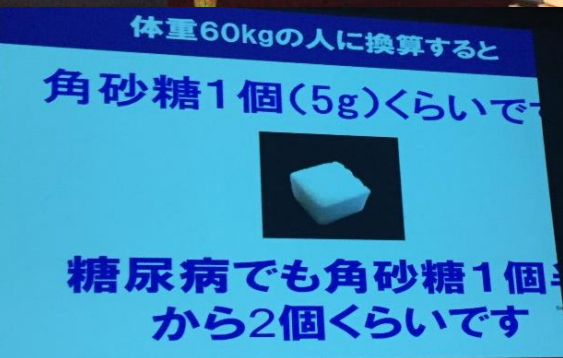
ASHIYA Lions Club / ASHIYA HIGASHI Lions Club / ASHIYA NARIHIRA Lions Club

Environment



Dist. 335-A KASUGA Lions Club

District 335-B



September 25
Diabetes education seminar
was held!

November 2
Joint activity of Osaka Umeda Chuo
Lions Club and Osaka Sonezaki
Lions Club

District 335-C

**Sight First
Memorial service**



アイバンク愛の光碑 (高台寺)



FWT seminar



**Visit tour to
Blood-donor center**



**Anti-Drug Abuse
seminar**



For University students



Blood Donation Activity





M D 3 3 6



336 複合地区 ガバナー協議会

- Lions Clubs Int'l DG's Council MD336
- ホーム - Home -
- 組織 - Organization -
- 336 複合地区について - About MD336 -
- スケジュール - Schedule -
- ニュース&イベント - Schedule -
- YCE について - Youth Camp Exchange -



MD336 エリア区分



- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|-------------------|
| 336-A | 336-B | 336-C | 336-D |
| 愛媛県
高知県 | 香川県
徳島県 | 鳥取県
岡山県 | 広島県
島根県
山口県 |



3 3 6 - A





Life jacket Presentation





Life jacket Presentation



3 3 6 - B



336-B 6R-2 z Okayama Prefecture Soja Lions Club

- Since its founding in February 1961, it continued its dedication campaign for 56 years with the phrase “Light to the blind person”

Love card



Love Card

Please call the following numbers:

Okayama Prefecture Eye Bank:

086-223-6622

During nighttime or holiday calls will redirected to Okayama University Hospital Ophthalmology ward.

Soja Lions Club

0866-93-7200

Donor name will be honored with inscription to Bitchu Soja Gu.

Number of registrants to date

3 6 3 7 persons

Eye donation process

☆Registered donor and family with aspiration of eye donation should contact the numbers on the reverse side.

☆Eye donation operation must be done within 10 hours.

☆Please inform address, name, age, date and time of death, mortuary location, disease name, and contact number.

The offer will be decided by according to family's intention.



Public eye donation registration



State of honorable closing ceremony



Public recognition

Public Recognition
Mr Masaru Yabuki

With your understanding in the eye bank action with the theme of 「The light of love for the blind people」 we received the cornea. We offer this sublime act of honoring you by giving your name to a monument and will praise you forever.

2017 November 2
Soja Lions Club
Director Dan Shimizu





Environmental protection



浦安総合公園を清掃する参加者

浦安総合公園きれいに

みらいと児童と清掃活動

今年8月に結成した田は28日、小学生チ
岡山みらいライオンズーム「南輝ドッジボ
ークラブ(岡山市南区藤ルクラブ)の児童たち

と、同浦安西町の浦安 動エリアとし、会員42
総合公園で清掃活動を 人。今後は地域での
行った。 清掃や献血の呼び掛

両クラブから計約80 けのほか、小学生対象
人が参加。雨の中、熊 のドッジボール大会
手などを使って落ち葉 の開催も予定してい
やごみを拾い集めた。 る。

南輝小6年権代陽輝君 藤井信英会長(48)「
(12)は「友達と遊びに 同泉田は「地域と子
来たこともある公園。 どもたちの『未来』の
自分たちできれいにす ために活動する思いで
ると気持ちがいい」と 名付けた。精力的に地
話していた。 域貢献していきたい」
同ライオンズクラブ と話している。

は同市南区を主な活 (山本貴之)

3 3 6 - C





Guide dogs





Drug abuse prevention





Environmental protection





Blood and Public eye donation



3 3 6 - D





Guide dogs





Newspaper article

盲導犬の育成支援活動を展開する松江湖城ライオンズクラブが22日、バスケットボール男子Bリーグ1部（B1）の島根スサノオマジックのホーム試合があった松江市学園南1丁目の市総合体育館で、来場者に育成資金のための募金を呼び掛けた。

会員や日本盲導犬協会

スサマジと一緒に 盲導犬も応援して

松江湖城LC 募金活動

あさひ訓練センターのスタッフら18人が、盲導犬1匹を連れて活動した。来場者は盲導犬に「お利口だね」と声を掛けたり、頭をなでたりして募金に応じた。

同クラブの木村陽子会長(73)は「盲導犬は視覚障害者の目となり一生懸命働いている。生きるうえででの力強いパートナーであることを知ってほしい」と訴えた。

同センターによると、育成費用のほとんどが募金や寄付金で賄われ、1匹を育てるのに約300万円かかるという。現在、島根県内では12匹の盲導犬が活躍している。

(石川麻衣)

募金に協力する来場者
(左) 松江市学園南1丁目、松江市総合体育館





Guide dogs Seminar





Guide dogs Seminar





Guide dogs Seminar



M D 3 3 7

ACTIVITIES REPORT

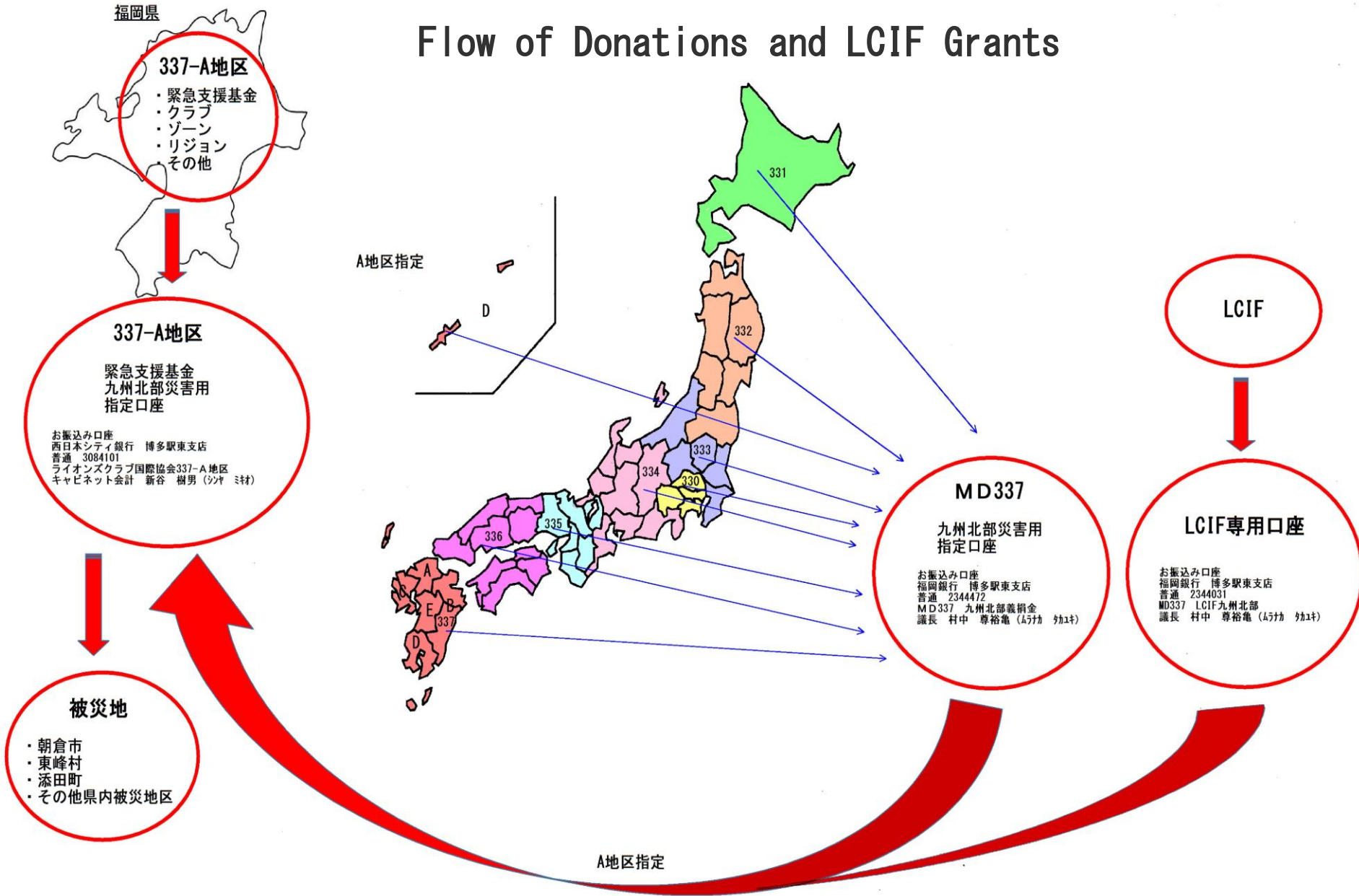


MD337-A

Activites

for Northern Kyushu Heavy Rain

Flow of Donations and LCIF Grants



Bob Corlew LCIF Chancellor Visited the affected area.





被災状況



仮設住宅



労力奉仕（炊出し）



仮設住宅への炊飯器寄贈



労力奉仕（果樹園の土砂搬出）



災害復旧活動車両贈呈



災害復旧活動車両寄贈（3台）



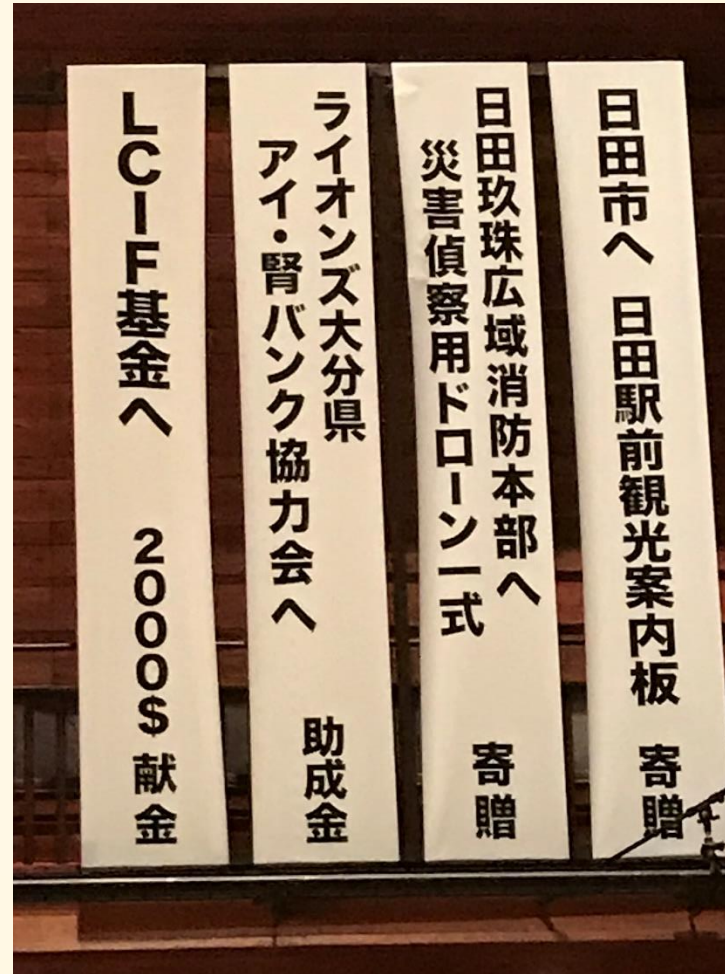
被災した少年野球チームへ練習用具寄贈

MD337-B

Activities

for Northern Kyushu Heavy Rain

Drone was donated to HITA Fire department by HITA LC as 60th anniversary



337-B gave donations to HITA Otsuru Fire Brigade



発電機・チェーンソー・高圧洗浄機・消防用ホースなど
1,782,972円分の備品を寄贈

337-B gave donations to Yoake Niko Niko Nursery school in HITA



運動会玉入れ道具、園児避難者カバー。ロッカーなど園児のための1,924,152円分の備品を寄贈



337-B gave donations for Onta Ceramic, Important Intangible Cultural Property, restoration



1705年の開窯以来、伝統あり、家族窯を一子相伝で守る
小鹿田焼復興のため、唐臼16基分として400万円を寄贈



MD337-E

Activites

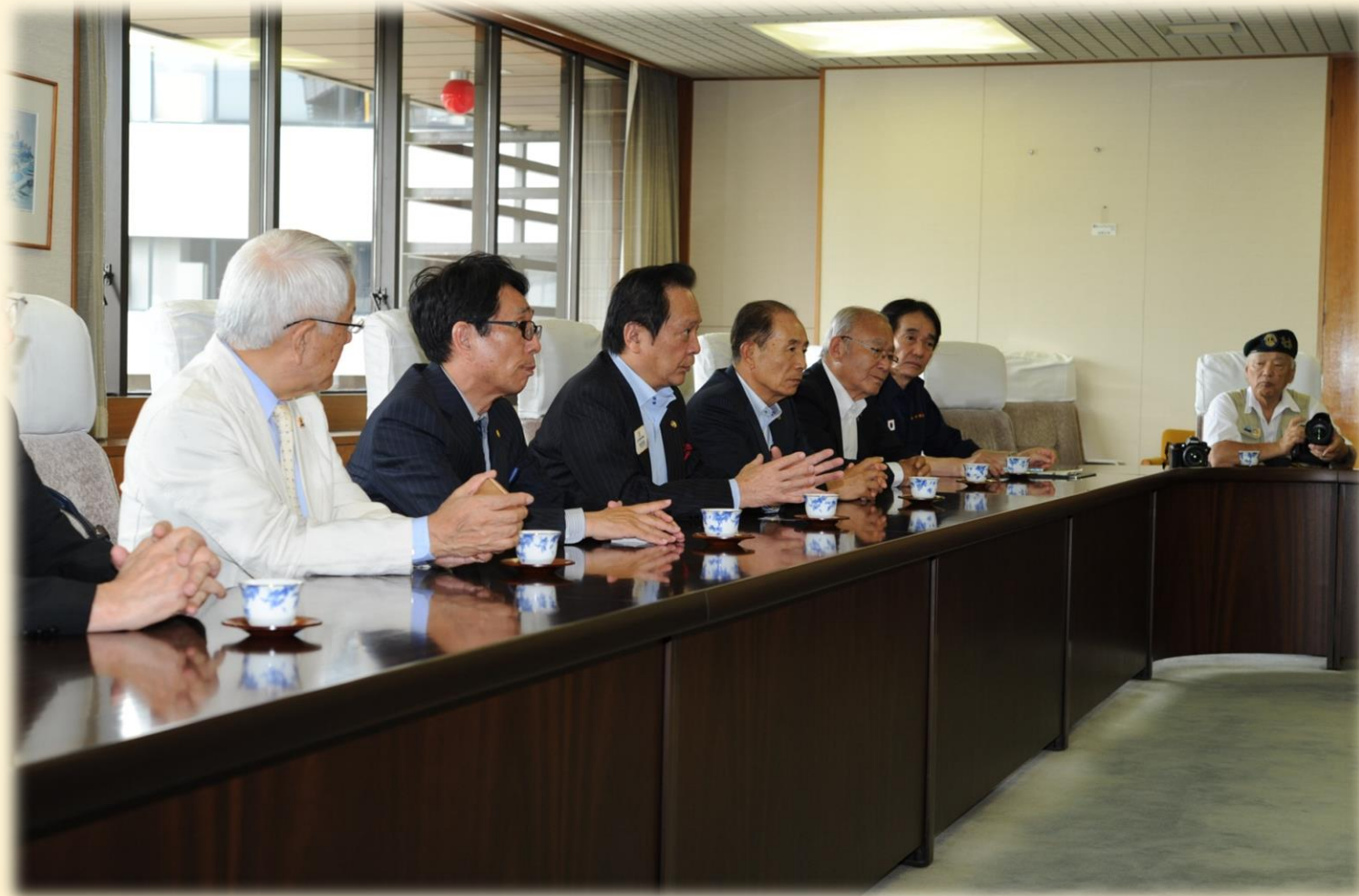
for KUMAMOTO Earthquakes

KUMAMOTO CASTEL

One of the Stone Wall damaged by the earthquakes



**LCIF Chairman Dr.J.Yamada (2016-2017)
visited Kumamoto
on 3/8/2016**





One of Japanese
Volunteer Group
helped
KUMAMOTO



Lions District 337-E, Junior
Chamber International
Kumamoto and Rotary
club Kumamoto co-hosted

1st KUMAMOTO

HUKKO SAI

(The reconstruction Festival)

On

23/10/2017

LED LIGHTS On the River

1st KUMAMOTO HUKKO SAI

FIRE WORKS is
The Symbol of our
Reconstruction Spirits





**Lions 337-E team
at
1st Kumamoto
Hukko Sai**



**LCIF Chairman
Bob Corlew
(2017~2018)**

**visited
KUMAMOTO**

on 7/9/2017

**LCIF Chairman
Bob Corlew
(2017~2018)**

at

**KATO SHRINE
in
KUMAMOTO CASTLE**





2nd
KUMAMOTO
HUKKO SAI
(The reconstruction Festival)
On
22/10/2017

Many artists encouraged KUMAMOTO!

2nd
KUMAMOTO
HUKKO SAI
(The reconstruction Festival)
On
22/10/2017





Smiles of 337-E TEAM

2nd
**KUMAMOTO
HUKKO SAI**
(The reconstruction Festival)
On
22/10/2017